



市議会ホームページ
QRコード

新たな基本構想「国分寺市ビジョン」を可決

～「魅力あふれ ひとつつながる 文化都市国分寺」を目指して～

「ほんだ保育園の民営化関連議案」、「九小校舎増築・ぶんバス運行関係経費などの補正予算」を可決

平成28年第4回定例会は、11月28日から12月22日までの25日間の会期で開催し、市長提出議案36件、委員会提出議案2件を議決し、選挙2件を行いました。(結果は8頁に掲載)

一般質問では、22名の議員が5日間にわたり、市長等と議論を交わしました。(2～7頁に掲載)



市内から見た富士山(富士本三丁目)

未来のまちの姿を示す「国分寺市ビジョン」を賛成多数で可決

議案「国分寺市ビジョンの策定」は、9月の第3回定例会において設置した、議員全員(議長は除く)で構成する「国分寺市総合ビジョン審査特別委員会(木村徳委員長、田中政義副委員長)」に付託し、閉会中の11月18日と、12月15日から19日までの3日間にわたり審査を行いました。『国分寺市ビジョン』の内容は、本市報(2月1日発行)をご参照ください。

委員会での主な質疑

「本ビジョンでは、これまで以上に市民・事業者等とともに未来のまちの姿を目指していくことを明確にしているが、策定段階において事業者などの意見を参考にしたか」との質疑があり、担当からは「国分寺市ビジョン会議や、無作為抽出によるワークショップに参加いただいた方から意見を伺い、パブリック・コメントを実施した」との答弁がありました。

また、これまでの基本構想において『行政運営』としていた表現を、本ビジョンでは『公共経営』と表現したことから、「民間の利益を追求する『経営』と今後混同することがないように願う」との質疑があり、担当より「営利を目的とした『経営』ではない。市の財政状況や人口構成の動向等を踏まえつつ、市民ニーズに応えるための行政執行に努めていくことを表したものである」との答弁がありました。

さらに、これまで基本構想の将来像は「健康で文化的な都市」であったが、本ビジョンで掲げられた未来のまちの姿からは『健康で』という表現が削除されたことに対して、「これまでの将来像は、憲法第25条『健康で文化的な最低限度の生活を営む権利』に基づいた精神・理念を表しており、この表現は今後も残すべきと考える」との意見と、「未来のまちの姿には『健康で』の表現はないが、分野別の都市像『いきいき健康かなまち』に凝縮されている。また、本ビジョンは日本国憲法のもとにあり、第25条の権利だけではなく、日本国憲法を内包している。よって、未来のまちの姿は提案どおりでよいと考える」との両意見からの質疑がありました。

その他「未来のまちの姿実現に向けては『ひとつ』を中心とした施策展開に取り組んでいただきたい」「『市民自治』『人権』『男女平等』の表現がないことは非常に大きな後退であり、残念である」等々の質疑、意見がありました。

国分寺市ビジョンの審査とあわせて、『国分寺市ビジョン実行計画』(案)の質疑を行い、議案審査の参考にしました。実行計画は3月の平成29年度予算審査時に改めて示されることが明らかとなったので、市議会としては、その時点で改めて実行計画の確認を行うこととなりました。

委員会では、以上の審査のあと、採決を行った結果、賛成多数で可決しました。

本会議における各会派の討論

本会議では、国分寺市総合ビジョン審査特別委員会委員長からの報告の後、採決の前に各会派を代表する議員から「今回の国分寺市ビジョンでは市の将来像を『魅力あふれ ひとつつながる 文化都市国分寺』と表現している。市民一人一人が優しく思いやりの心を持って接すれば絆が生まれ、心も身体も健康につながるという思いが込められていることから賛成する」「長年使われてきた『健康で文化的な都市』という言葉が言い替えられたことは残念だが、憲法と自治基本条例を尊重することを評価する。今後の市政運営の理念として何をすべきか考え取り組んでほしい。議案ではない『実行計画』を議会に示したことを評価するが、今後は市民説明会を開催することを求め賛成する」「ビジョンを議決対象としたことを評価する。計画期間を8年とし、主要施策を毎年見直すことで時代の変化に対応できるものとなっている。今後、実効性のある実行計画が策定されることを要望し賛成する」「多様化する地域課題への対応には市民参加と協働、市民自治の推進が必要。市民との情報共有、市民への情報伝達の体制づくりを求める。個人を尊重し多様性を認め合うことで市民一人一人が自分らしく暮らせるまちとなることを期待して賛成する」「ビジョン前文は自治基本条例を重視したように書かれているが、内容には市民の声や市内で活動する団体・

次ページに続く▶

国分寺市議会災害対応規程を制定しました

市議会では、市内において大規模災害が発生した場合の議会及び議員の対応等を定めた「国分寺市議会災害対応規程」を昨年11月に制定しました。

これにより、大規模災害発生時に各議員は被災状況等の情報収集に努め、適切な情報を市民へ伝達するなど、市の災害対策活動を支援し、市民生活の早期安定・復旧に向けて取り組んでまいります。

シリーズ

国分寺市議会① 政務活動費は

今回から市議会のしくみなどをシリーズでお知らせしていきます。

政務活動費は、議員の市政に関する調査研究その他活動に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

交付金額は、国分寺市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき交付されます。一人あたりの交付金額は表のとおりです。

支出にあたっては、国分寺市議会政務活動費経理要領の用途基準に従い、必要な経費以外には充てることはできません。

議員は年度終了後、政務活動費に係る収支報告書・会計帳簿等を議長へ提出しなければならず、議長は提出された収支報告書等の内容が適正であるかを審査した上で、その写しを市長に提出します。収支報告書は、情報公開請求により閲覧することができます。

政務活動費交付額一覧

国分寺市議会	年額24万円/人
多摩26市議会平均	年額32万円/人
東京23区議会平均	年額198万円/人

(平成28年4月1日現在)

事業者の意見、議会の意見がほとんど反映されていない。現行の長期総合計画の評価もされていない。行政の継続性・発展性の点でゼロベースからの策定は許されない。憲法の本質・自治基本条例の本質がなく、市民自治の実現という目標から逸脱したビジョンであることから反対する」「実行計画の数値目標の設定に行政評価の視点を取り入れ、自治基本条例のもとに実行計画策定に市民参加と協働の場の設定を求め賛成する」といった議論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

ほんだ保育園の 民設民営化関連議案を可決

議案「国分寺市立保育所設置条例の一部を改正する条例」は、市立ほんだ保育園を民設民営化するために条例改正するもので、議案「財産の無償譲渡について」は、ほんだ保育園園舎を運営受託法人に無償譲渡するというものです。

文教子ども委員会では「公立園の民営化では計画どおりにコスト削減できていない。市が今やるべきは民営化ではなく待機児解消である。そのためには今回の法人に新園設置を依頼すべきではないか。また、待機児の多い3歳以下の児童だけの保育園を作れないか」「無償譲渡前の保育室の工事で、その後の保育に支障は出ないか」「民営化を公立園の保育士はどう考えて

いるか、また公営園1園になった時、職員配置はどうなるのか」「28年度の引継ぎ作業は順調か、その状況を保護者に説明しているか」「評価の高い恋ヶ窪保育園と同じ法人がほんだ保育園を運営することになるが、人事異動により恋ヶ窪保育園の評価が下がることがないようにしてほしい」等の質疑、意見がありました。

委員会では、質疑の後に「適正な園舎の価格を示さずに議決を求めるのは理解できない」「保育士不足の中、公立園の保育士を手放すことになる。保育士の確保と待機児解消のために公立園を複数残してほしい」「園舎を無償譲渡して市の維持管理から離れることは後年の市の財政に寄与する。恋ヶ窪保育園で実績のある事業者が引継ぐことに期待する」といった賛成・反対の議論がありました。採決の結果、両議案とも可決となり、委員長は可決と決しました。

本会議では、文教子ども委員長からの報告の後、委員会と同様の議論があり、採決の結果、両議案とも賛成多数で可決しました。

平成28年度一般会計補正予算を可決

議案「平成28年度一般会計補正予算」は、補正予算審査特別委員会（及川妙子委員長、なおの克副委員長）を設置の上、同委員会に付託し、審査を行いました。

補正予算は第6号から第8号の3つの議案が提案され、その主な内容は、第6号は「ぶんバス『万葉・けやきルート』の12月26日運行開始に伴うバス停設置や転回場整備等に係る経費の特別会計への繰出金の補正増等」、第7号は「職員人件費改定に伴う補正増」、第8号は「学級数増加に伴う教室不足解消のための第九小学校校舎増築工事設計委託料の補正増等」です。

委員会では、ぶんバス新ルート運行に係る補正に「転回場を経由して利用する場合に一旦乗降する必要はあるか」「運行開始までの努力を評価する。初期経費はどの程度要したのか」等の質疑がありました。

また、九小の校舎増築に係る補正は、議案審査前に、文教子ども委員会、公共施設総合管理特別委員会に平成30年8月供用開始での増築の報告があり、教室不足の状況の報告が議会になく、突然の議案提案に「増築判断に至る経過説明」「事前の情報提供を求める」など質疑・意見がありました。それを踏まえ委員会では「校舎増築への国・都の補助はあるのか」「近隣住民に説明すべき」「児童の負担にならない範囲で学区の見直しを検討すべき」等々の質疑がありました。

委員会では第6号と第8号は全員賛成、第7号は賛成多数で可決しました。本会議でも同様の結果となり、可決しました。

市政を 問

平成28年 第4回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番で掲載しています

国分寺市最大の悲劇 「御門訴事件」を探る



自民党国分寺市議団 新海 栄一

新海) 6月に続いて歴史、史跡、文化財等の保存や広報の現状についてお聞きします。

日本で最初に旧石器時代の遺物が発見された熊ノ郷遺跡の説明板の設置はいつになるのか。

教育部長) なるべく発見地に近い場所を予定しており、来年度の設置を目指しています。

新海) 国分寺の歴史上最大の悲劇といわれる「御門訴事件」について経緯をお聞きしたい。

教育部長) 明治2年に当時の品川県知事古賀定雄が社倉政策と言う名の税を貧農にまで課したことから武蔵野新田12カ村が嘆願書を提出。県は要望を受け入れず代表者を拘留した。明治3年正月12カ村民約600名が日本橋の県庁門前で嘆願したが、県庁側はこれを刀、槍、鉄砲、大砲で攻撃、死傷者500名におよび、さらに各村々への追及は熾烈を極め、多くの名主が捕らえられ獄死しています。

新海) 当時の農民の窮状を理解しない官軍のおごり意識が引き起こした悲劇。この事件の詳細を神山平左衛門氏が『むさし野の涙』として書物に残している。この本は文化財審議会指定文化財候補とされているが現状は。

教育部長) 現在所在確認が取れていないので審議会では保留扱いとなっている。

新海) ぜひ確認していただき文化財として後世に御門訴事件の悲劇を伝えてもらいたい。

新海) 明治22年に甲武鉄道の駅の位置で誘致合戦が続いていた。国分寺駅開設の経緯は。

教育部長) 誘致に向けて懸命な努力が続けられ、

最終的には小柳九一郎氏が駅用地すべてを寄付すると言う事で国分寺に決定している。

新海) 国分寺駅南口広場に小柳九一郎顕彰碑があるが市民に知られていない。顕彰碑の前に分かりやすい説明板を付けてほしい。

教育部長) 昭和35年12月に除幕式が行われています。分かりやすい説明板を検討します。

新海) 信時潔氏作曲の駅発車チャイムを要望してかなりの時間が経過した現状は。

政策部長) 現在音源確認の段階に入っている。今年度中を目指して取り組んでいきたい。

恋ヶ窪熊野神社前の通り、 早く何とかして！



自民党国分寺市議団 吉田 りゅうじ

▼自転車事故のダメージを軽減する措置

【問】 相変わらず国分寺市内では自転車関与事故が頻発しており重篤な事故も後を絶たない。命を守り、身体へのダメージを軽減する為に、13歳未満の子どもにはヘルメット着用を義務付ける法改正がされたがあまり知られていない。ヘルメットや安全基準を満たした幼児2人同乗用自転車購入費の助成をしてはどうか？

【答】 ヘルメットの装着により被害の軽減を図れる場合もあると認識している。幼児2人同乗用自転車購入費の助成を含め他市の導入事例も参考に調査・研究したい。

【問】 「自転車対策」「交通安全対策」等の充実を図るため、現在の都市建設部ではなく専門の所管課を設けては如何か？

【答】 来年度の機構改革で交通対策課の設置を予定する。

▼国3・4・6号線の進捗状況と沿道環境の変化

【問】 熊野神社前の通りは、西武国分寺線との立体交差部付近は延長が約470m、道路が地下に潜るアンダーパス方式となり、踏切は廃止することで間違いはないか？

【答】 その通りである。東京都において、道路全体の構造や施工方法等の検討を進めており、残る用地取得も東京都と市で進めている。

【問】 沿道は大型マンションの林立、コンビニの開設、民間保育園やぶんバス折り返し場の新設等々大きく様変わりしており、市内を東西に横断する主要幹線道路として大きく期待されるもの。幸いにしてこれまで大きな事故は発生していないが、カーブの続く狭隘路と西武国分寺線踏切近辺は言うまでも無く命の危険さを感じるゾーンである。繰り返しとなるが、日吉町側は完成から既に約40年、本多側も既に30年近くが経過しており、公共事業の為と断腸の思いで

次ページに続く▶

2月19日に 「日曜議会」を開催します 身近な、開かれた議会を目指します

平成29年第1回定例会は、2月17日（金）から開会の予定です。

平日に議会の傍聴に来られない市民の方が議会の傍聴していただけるよう日曜日に本会議を開催します。

多くの市民の皆様のご来場をお待ちしております。

日時：2月19日（日）午前9時30分～
場所：市役所第1庁舎3階 議場
内容：市長の施政方針に対する代表質問

なお、市長の施政方針は、2月17日（金）午前9時30分から予定しています。

先祖からの貴重な土地をご提供いただいた市民の熱い魂に報いるためにも、ぜひ1日でも早い完成を期待している。

【答】市としても引き続き東京都と協力して早期完成に向けて取り組んでいく。

命の大切さを教えるがん教育 市も早期開始を



公明党 さの 久美子

1. 安全・安心のまちづくりについて

(1) 市道幹7号線の安全対策について 国3・2・8号線の一部交通開放により交通量増加が予想される。ガードレール設置等の横断防止対策、南側の街灯早期設置、信号機設置、恋ヶ窪ガード付近の自転車安全対策を求める。市) ガードレールは交通量調査の上、必要箇所に設置したい。街灯は今年度中に設置。信号機は交通管理者に要望、ガード付近は看板設置で対応する。

(2) 人とペットの災害対策について 災害時、ペット同行避難を想定し、更なる避難訓練の周知をすべき。狂犬病予防接種の際に啓発用のパネルを展示し「飼い主への啓発」に力をいれるべき。市) ペットを飼っている市民に対し訓練の周知方法を考えたい。パネル展示は実現させたい。

(3) 総合防災訓練について 小学生からポスター募集するなど広報に工夫を。市) 検討する。

2. 切れ目ない子育て支援について 産後うつ対策事業構築のためにも、妊娠期から面接、支援プラン作成等を行う「ゆりかご・とうきょう事業」を来年度から実施すべき。市) 必要な事業と考える。前向きに検討していきたい。

3. がん教育について 6年前からの提案。「がんのこわさ、命の大切さ」を教えるがん教育。国分寺市はいつ取り組むのか。教育長) アクティブライフ研究実践校でモデルケースを作りたい。3学期にがん教育の単元開発、授業を1回高学年で行い、教員研修の場にもしたい。

4. 嘱託職員の処遇改善について 今や嘱託職員の数は職員の半分を上回っている。モチベーション向上のため、賞与のような手当は考えられないか。市) 考えてはいるが、地方自治法上の規定から解決すべき問題があり、庁内議論中。

5. 認知症対策について 今年初めて11月が認知症月間となり、認知症サポーター養成講座に職員が多数参加し、よい取り組みであった。来年度は当事者の話を聞く、視覚から訴える企画を提案する。市長) 職員は市民と接する部分が多いので、熟知して対応できる体制を作りたい。市) 提案内容は参考にさせていただきたい。

今そこにある危機！ 犯罪予告への対応を!!



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

市に対する犯罪予告対応について

だて) 多発している公共施設や学校への爆破等の犯罪予告について、市の対応指針はあるか？市) 防災や不審者への対応はできているが、犯罪予告に対しては定まったものはない。

だて) 施設管理の外部委託なども増えている中、適切な対応を行い、市民や子どもたちの安全を守るためにも一定のマニュアル作成を行うべき。市) 学校をはじめ、各施設でのマニュアル作成

等の対策を行ってまいりたい。

稲荷坂通りの舗装工事について

だて) 昨年も質問をした稲荷坂通りの振動問題。舗装工事を行うとのことだが詳細を伺う。

市) 平成29年度の早期に高木町交差点から市営住宅に入る交差点まで、残りの部分は平成30年度に工事を行えるよう進めている。舗装の全面打替えを行うので、振動は相当改善される。

だて) 終バス後の深夜の工事となるが、家の真横で大変な騒音が発生する。近隣住民への丁寧な説明と早めの日程連絡を要請する。

市) 周辺の皆さんにはご迷惑をおかけすることは認識している。工事の進捗に合わせて、詳細な工事日程をお知らせするなど、でき得る限り丁寧な対応を図ってまいりたいと考えている。

悪質な税金の滞納には毅然と対応を!

だて) 滞納市税等の徴収率が向上してきているが税負担の公平性を守るという観点からも、更なる検討、新たな取組みを求める。

市) 昨年、だて議員から提案を頂いた市外へ転居した滞納者への調査委託をスタートさせた。徴収率の高い他市の取組みも参考に目標達成に向け、引き続き工夫、研究を進めてまいりたい。

市報アプリの導入を!

だて) 全国の自治体で市報配信のスマホアプリ導入が進んでいる。費用、更新の手間もかからず、市報や関心あるテーマの情報が自動的にピックアップされる機能もある。市報を手にとることの少ない若者向けに導入をすべきと考える。

市) 利点が多く、非常に有効なツールであると認識している。導入に向け検討を進めたい。

言葉は争うためではなく 理解し合うためにある



国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子

1. 振り込め詐欺について=ゼロになったと聞いたが実態は？→今年度8~10月までゼロで減っている。◎一時期全国一の被害だったが改善したのでPRしてほしい。

2. 事故について=(1)JRのホーム事故=10月に西国分寺駅で視覚障がい者が線路に転落した。中央線は全国で2番目にホーム事故が多い。沿線の市区町会などをつくり、ホームドアの設置を強く要望すべきだ→市長会で東京都に要望している。(2)立川の自動車事故=高齢者の事故については運転免許の返納だけでなく、必要な方に対しては一定配慮すべきだと思う。

3. 待機児童について=(1)来年度の見込みは？→今年度の102名より上回ると予測している。(2)今後の対策は？→定員数の見直し、保育園3園の建設で来年4月の定員を2,634名にする。(3)0、1、2才の小規模保育所をつくったらいかがか？多摩26市でつくっていないのは8市だけである。→小規模保育所でなく、定員33名などの小さな認可保育所を整備する方向で考え直している。

4. 障がい者施設等について=(1)条例制定にむけての具体的な計画は？→他の自治体の状況を確認して研究しているところ。(2)差別解消法では行政は合理的配慮が義務になっている。職員対応要領の進行状況は？→原案を策定中であり年度内の策定をめどに準備中。(3)障がい者への広報について=以前やっていた手帳交付時に一緒に障がい者団体のパンフレットを渡すことをまたやっていただきたいと要望があるがいかがか？→手帳交付時に「障害者のしおり」を渡し

ている。団体のパンフレットについては配架基準を整備して自由にとれるようになっている。

5. 国分寺まつりについて=3年前から出店を拒否されている3団体について、それまで出店を認めていたものを変更するのであれば最低限度、そのことについて説明すべきだ。今の状態は不正常だ。市は実行委員会が説明責任を果たすように働きかけをすべきだと思う。話し合っ

て一歩でも解決に向けて進んでほしい。

市主催の特定健診項目に 骨粗鬆症検査導入を



公明党 高橋 りょう子

(1) 健康推進施策

問①若い女性から高齢者に多い骨折。既存の健診に骨粗鬆症検査導入で早期発見・予防対策を。

市) 幅広い年代層へのアプローチが可能なため有効と考える。医師会との調整含め研究したい。

問②早期発見の第一歩は健康診断。若者や未受診者の申込みには電子申請が大変有効、導入を。

市) 若者等に有効と認識。実施に向け準備する。

問③予防接種は原則市内医療機関だが里帰り等では県外の場合も。費用負担の無い様対応を。

市) 事前の相談で先方の医療機関と連携し償還払い(他市でも無料)に向け今年度中に整備する。

(2) 教育環境の整備

問①学校トイレは日常的に児童生徒が使用するが災害時には避難場所となり高齢者や障がい者も利用。誰もが利用しやすい洋式トイレ設置を。

市) 現在7校設置済、残る3校も洋式整備する。

問②食糧供給地域が災害遭遇時も子ども達の食事は最優先。引き続き安定した学校給食提供を。

市) 野菜高騰の影響時にも工夫して確保する。

(3) 環境施策 問①消費しきれない食品を必要な方に活用頂くフードバンク。具現化を。

市) 環境まつりで第1回の回収を実施する。

(4) 市の広報活動 問①古代米国分寺種赤米が発見され今年一定量収穫と。給食に導入を。

市) 三学期に1食全校児童に提供予定。

問②全国4か所でしか取れない希少米。学校の観察授業で陸稲・赤米の栽培をしては如何か。

市) 来年度赤米を栽培する学校が3校予定されており、水稲白米との比較学習へ期待が高まる。

(5) 道路の安全対策

問①2年前から求めて来た稲荷坂・高木バス通りの振動対策。沿道住民待望の打替え工事決定を高く評価。住民・学校等へも丁寧に周知し無事故の完成を願う。市) 安全第一で対応する。

問②博多陥没事故報道に本市の安全対策を問う。次ページに続く▶

映像配信について



平成28年11月28日から12月2日に行われた第4回定例会における一般質問と12月22日の議案審議の様子が市議会のホームページでご覧になれます。また、平成29年2月17日(金)に行う市長の施政方針、19日(日)に行う各会派代表者による市長の施政方針への代表質問のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご活用ください。



本会議の動画配信
QRコード

市) 地下の状況把握は下水道管や地下環境の定期調査が有効。着実な実施で市民の安全を守る。
その他)①クリーン運動を地域交流にも活用を。
②乳幼児予防接種にアプリ導入を。等質問した。

市民の安心、まちの潤い、発展を願って



公明党 なおの 克

●子育て支援について

問) 所得制限の撤廃や無料化等、**子ども医療費制度の拡充**についての検討経過は如何か?

子ども家庭部長) 保護者の経済的な負担軽減に直接結びつく即効性がある施策だ。コスト計算の最終的な精査を行っている。

●障がい者支援について

問) 重要な**児童発達支援事業**において、他の事業者の参入の必要性についての認識は如何か?

子ども家庭部長) つくしんぼ事業拡大が進まないことでご不便をかけている。市内で療育を受けられる環境整備に民間事業者の参入は必要だ。

問) 具体的に計画に反映すべきではないか?
福祉保健部長) 今後、子ども家庭部と情報共有、連携を図り、ニーズ把握に努めてまいりたい。

問) **障がい者グループホーム**について、ひとり親家庭、青年の自立、親の高齢化など、今後さらに増やす必要がある。市の見解は如何か?

福祉保健部長) 地域における支援体制の充実が求められている。第5期障害福祉計画策定に向け、ニーズや実態把握に努めてまいりたい。

●ICT利活用の推進について

問) 長年、**公衆無線LAN(フリーWi-Fi)**の整備を求めてきた。その後の検討経過は如何か?

政策部長) 有効性は認識している。市全体の活用に向け各所管と協議、進行管理し進めていく。
要望) **施設予約システムの導入**に向け、施設ごとの**イベント情報の積極的な情報発信**、**データ分析**として活用や**広告収入**も検討して頂きたい。

●ぶんバスについて

問) **12月運行開始**となる念願の**万葉・けやきルート**について、遺漏なく進めて頂きたい。

部長) 安全運行のため、道路補修や転回場の整備を進めている。新ルートを広く周知していく。

●国分寺駅周辺地区まちづくりについて

問) 再開発事業で終わりではなく、**まち全体の発展、人の回遊性**を生む必要がある。

部長) 土地、建物や道路等の現況調査、アンケート調査や地元の意向も踏まえ、今後のまちづくりや都市計画のあり方について検討したい。

市民の安心・安全と市の魅力発信について



自民党国分寺市議団 田中 政義

1. 消防署隣接関連地(泉町都有地)について

問) 新しく建設される国分寺市消防署隣接の防災関連用地については市が整備する予定になっているが、これまで消防団の放水訓練にも使用できるように求めてきた。そのように進められていると認識している。そこで実践的な訓練ができるよう敷地内に消火栓の設置を願いたい。
総務部長) 消防団の訓練の他、市民による応急給水訓練等にも活用できると考える。様々な事項を考慮しながら検討を進めていく。

2. 市内幹線道路工事について

問) 道路工事の完了後に工事個所に係る消火栓に於いて、蓋を開けるための穴がアスファルトで埋められているものがあった。災害時に使用できない状態になり得る。嚴重に注意して頂きたい。

総務部長) あってはならないことだと認識している。道路管理担当と調整し工事申請者に対して注意した。今後このようなことが無いよう、しっかりと連携を図ってまいりたい。

3. 水口ケット発射大会について

問) 平成19年度から開催されているイベントで「日本の宇宙開発発祥の地」国分寺顕彰会が主体となって毎年恒例の行事となっており、子どもたちだけでなく保護者の方々にも大変好評を頂いていると認識している。市の若手の職員も多数ボランティアスタッフとして参加されており、今後も盛大に開催を続けて頂きたい。

市民生活部長) 顕彰会の皆様のお考えを聞きながら継続して開催していけるよう対応したい。

4. 市の魅力発信について

問) 現在様々な形で市の魅力が注目されてきている。1つ提案だが、国分寺市が宇宙開発発祥の地であることに因んで、**ペンシルロケット水平発射実験**が行われた4月12日を市の記念日にすることはできないか。

政策部長) 偶然にも4月12日は「世界宇宙の日」と定められている。市独自に定める手法もあるようなので研究し、制定に向けて検討してまいりたい。

安心して産み育てられるまちに産前産後ケア



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■**妊娠期からの切れ目のない支援**■岩永市内の年間出生数の半分以上が第1子で、初めてのお産が500~600件。更に実家の支援が受けられない妊産婦が増えている現状をふまえ、個々のニーズに合わせて**産前産後の支援**をケアマネジメントするしくみが必要と答へ検討する岩永親育ちの支援として、妊産婦と家庭に寄り添い支援やアドバイスをする**産後ドゥーラ**の導入を答へ他市の事例や効果を確認しながら研究する岩永健康推進課と子育て相談室が連携し人員体制の整備も含め、いずみプラザを拠点とした**子育て世代包括支援センター**の早急な整備を答へ母子保健分野と連携し、トータルに検討を進めていきたい。

■**共生社会の実現にむけた特別支援教育**■岩永特別支援学校に通う子どもが地域の小中学校に籍を置き交流する**副籍制度**の参加人数は、小学校で対象者数の約3割、中学校では2割程度。保護者の付き添いが難しく参加できない等の声もお聞きする。地域ボランティアの活用や特別支援学校に向向く相互交流等、取り組みの充実を答へ特別支援学校に向向くことは現実的には難

しいが、ボランティアの活用は大いに考えられる岩永通級担任、在籍級担任、保護者間の情報連携と共有を答へ現在は3者が一堂に会する機会は非常に少ないが、平成30年度に巡回型になった際には特別支援教育コーディネーターの参加も含めて物理的に連携しやすくなる。また、専門員の配置も予定されており、情報連携の機会は増える見込み岩永日々のスケジュール調整や学習進捗の確認も含め、個別の対応を要望する。

■**交通安全計画**■岩永計画策定にあたり、地域の実態把握は不可欠。また、計画の柱には道路環境の整備、市民への啓発、学校を中心とした地域ごとの交通安全活動の組織づくりを盛り込み、庁内連携のもと進めていただきたいと答へ必要と考える。関連部署とも調整して取り組む。

★その他、**国分寺まつり**について、東京弁護士会からの指摘をふまえ、実行委員会に対して、市報の出店要項にある「政治的な意味合いのある」という文言の修正を求めること等を要望。

保育所職員の家賃補助、4年生以降の学童保育



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう

◆**民営保育所職員の家賃補助の実施を**

星) 保育士等が、法人で借り上げた宿舎(社宅)に住む場合、1戸あたり上限8万2千円(月額)の家賃補助を行う制度を東京都は設けた。実施するかどうかは各自治体の判断となっている。他自治体の実施状況はどうなっているのか。

市) 23区は、ほとんど実施すると聞いている。
星) これは、事実上の賃上げとなるもの。当市が実施しなければ、この制度を設ける自治体に保育士は移ってしまう可能性がある。保育士不足のなかで、日々の保育および待機児童解消の施策に影響が出てしまうことを懸念する。市は、実施をどのように考えているのか。

市) 他自治体の状況、法人の意向を調査して、実施するかどうかを含めて検討していく。
星) 処遇改善のためにも、ぜひお願いしたい。

◆**民営学童保育所の障がい児受け入れを確認**

星) 働く保護者をもつ児童・生徒が放課後を過次ページに続く▶

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

市民の皆様の行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。請願・陳情はいつでも提出できますが、平成29年第1回定例会での委員会付託を希望する場合は**3月15日(水)**までに、第2回定例会での委員会付託を希望する場合は**4月20日(木)**までに直接議会事務局へご持参ください。

第4回定例会陳情の審議結果

第4回定例会では陳情4件を審議した結果、継続2件、不採択2件となりました。

《継続となった陳情》

陳情第27-6号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

陳情第28-4号 国3・2・8号線と国3・4・6号線の交差点の安全対策についての意見書

● 提出を求める陳情

《不採択となった陳情》

- 陳情第28-1号 子どもをめぐる施設に対する安全ガイドライン策定に関する陳情
- 陳情第28-3号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員の意見書提出を求める陳情

ごす施設としての学童保育所。子どもの数に対してスペースが狭いため、市は改善策のひとつとして、民営の学童保育所の誘致を進めている。「障がい児の受け入れは、どのようになっているのか」との保護者の声を伺った。

市) 民営の学童保育所でも、市と同水準の運営を行っている。よって、障がい児の受け入れは、小学校1年生から3年生までは1人、4年生から6年生までは1人を原則としている。

◆4年生以降も学童保育所の受け入れを

星) 学童保育所は、障がい児を除き、現状では小学校3年生までとなっている。「夏休み期間など、子どもだけで過ごしていることが不安。4年生以降も受け入れてほしい」との保護者の声は少なくない。受け入れに向けて、「今できること」「時間を要すること」を市が精査・検討するために、「どんな形態での受け入れを希望しているのか」といった保護者の要望を把握するアンケートを行っていただきたい。

市) どういう調査の方法があるのかを含めて検討したい。

→他、「病児・病後児保育室委託料の拡充」を質問

目的本位。実効性ある 施策・仕組み作りを！



国分寺政策市民フォーラム 丸山 哲平

一方通行道路の安全対策について

丸山) 国分寺高校東側の一方通行道路は交通量が多く、かつ通学路でもあり安全対策には万全を期すべき。しかし現状は注意喚起の看板はあれど、制限速度を超え通行する車両も多く、危険な道路となっている。より実効性ある対処が必要であり、蛍光テープを用いた警察官を模した看板設置を行うべき。早急な対応を求む。

市民生活部長) 警察官を模した看板は警察が設置するものだが、議員指摘であり、効果的なものとして警察に対し設置要請して参りたい。

国分寺駅北口再開発ビル・公益フロアについて
丸山) 再開発ビルの公益フロア・ホールは指定管理者活用が予定されているが、これまでの他事例に比して、より進化したものとするべき。具体的には備品・設備の選定に始まり、民間知見を活かしたものとすべきと考えるがどうか。

政策部長) 議員指摘の通り、施設管理のみならず、市民企画へのアドバイス機能等、創意工夫が発揮されるよう、事業者選定に臨みたい。

インフルエンザ予防接種費用の助成について

丸山) 今年度より乳幼児へのインフルエンザ予防接種費用の助成が始まった。高く評価するものだが、依然予防接種には各家庭に少なくない費用を求めているのが現状である。「治療から予防へ」の観点から同事業の効果測定とそれを受けて助成拡大を目指すべきと考えるがどうか。
福祉保健部長) 市として同じ視点を持っている。議員指摘を受け、保険課と健康推進課で連携し効果測定できるように研究して参りたい。

AED設置箇所の拡充について

丸山) 市内金融機関・郵便局等は頻りに利用され、市民から見れば公的な場所に近い存在といえる。これら機関にAED設置を求めていく必要があると考えるがどうか。

総務部長) 議員より通告を受け、各機関の設置状況確認を進めている。未設置の場所については設置協力を積極的に求めて参りたい。

その他) ぶんバス、運転免許自主返納、AR技術活用による広報、18歳選挙等につき質問。

安全・安心のまちづくり



自民党国分寺市議団 尾作 義明

●子どもいじめ・虐待防止条例について

施行後、検証の年となる。取り組みを伺いたい。(教育長) いち早く条例を制定。非常に功を奏している。教職員ではいじめ対策委員が機能するよう組織的に取り組んでいる。市教委では子どもたちが考えた「ストップいじめ! 5か条」「国分寺子どもeルール」の啓発を図っている。いじめ防止、早期発見、早期対応を基本に努めている。(部長) 児童虐待については周知を広めている。実務者会議の中に新たに進行部会を設けて挙がってくる虐待の全てのケースについて助言を頂き進行管理し、防止に努めている。

尾作) 市内は比較的安定している。だからこそ現場の意識低下を招かないよう努めてほしい。

●防災倉庫について

現在、市全体の被災の想定に基づき備蓄品を分散して配備している。現実的に帰宅困難者、建築物の高層化、坂の多い地域への対応など特性に合わせて配備すべき。また、新たな防災資機材も多く開発されている。検討して欲しい。(部長) どこまで備えるか考えねばならない。地域に合わせて、研究して、防災備蓄に備えたい。

●予防接種について

予防接種は生後2か月から始まる。過密な予防接種スケジュールを考えるとアプリの開発、産前から予防接種の理解をいただき、子どものためと同時に公衆衛生上の認識をひろめるべき。

●公共施設マネジメントについて

骨子として適正配置計画を示していただいた。先駆的事業として第九小学校への対応がある。教室が足りない実態に如何に対応するか?

部長) 九小、十小に於いて増築を検討している。尾作) 民生費の増加、厳しい財政状況が続くなか、市民サービスの維持と公共施設の更新を進める姿勢は評価できる。遂行にはビジョンとリーダーシップが必要。市長の意思を伺う。

市長) 長期的視野から、未来の国分寺がどうあるべきか、守っていくか、魅力をつくっていくのかということを力強く推進したい。決意を新たに、使命感と責任感をもって今後も進めたい。

西側地域のまちづくり 商工業振興の道筋



自民党国分寺市議団 尾澤 しゅう

【国立駅北口地域のまちづくりについて】

尾澤) 国立駅北口のファストフード店とコンビニエンスストアの間の一方通行の道路国3・4・7号線が昨年、市施行の優先整備路線に選定され、平成37年までに事業着手すべき路線となった。当該道路は駅前であることから整備の際は周辺地域の経済活動が活発になるように商店会がある南北に接続する道路を含めて一体的な整備をする必要があり、用途地域の見直し等もしていく必要がある。

答弁) 周辺まちづくりの具体的な時期や手法については現在のところ未定となっていますが、例えば低層階への商業施設の誘導等、国3・4・7号線の道路整備と連携して南北周辺地域の

活性化につなげてまいりたい。

【新庁舎建設後のひかりプラザについて】

尾澤) 新庁舎を建設するべく現在、調査中であるが、分散庁舎を解消することが新庁舎建設の大きな目的の一つであることからひかりプラザ内にある教育委員会や文化と人権課は新庁舎へ、またサービスコーナーは国立駅へ移転することは明らかである。移転後のひかりプラザの活用に関して現在考えはあるのか?

答弁) 移転は発生するが、移転後の活用に関しては具体的にはなにも決まっていない。ただ、移転後の施設にその他の公共施設を転用するというようなことも新庁舎の建設の検討と合わせて考えていかなければならない。

【弁天通りの用途地域見直し】

尾澤) 市内の事業者数は年々右肩下がり状況である。そのような中で弁天通りの用途地域が隣接市の同程度の近隣道路より低いいため、事業者の誘致や現在ある事業者の事業拡大の妨げになっている。市西側地域の商工業の発展と地域振興の観点から用途地域を出来るだけ早く見直し、変更して当該地域を活性化していくべきだ。

答弁) 当該地域に変化がない状況では難しいが、用途地域の変更は都市マスタープランなどの方針や基準に即しており、地域の方々の理解が得られれば進めていくことも可能だと考えている。

ぶんバス万葉・けやき ルート開設にあたり



公明党 木島 たかし

1・ぶんバス「万葉・けやきルート」

西元町三丁目～西国分寺駅東～国分寺駅西～東恋ヶ窪三丁目(往復)の運行開始にあたり。

問) さらなる周知が必要。①国分寺駅と西国分寺駅の近くにバス停が設置されることから駅構内でのPR②関係自治会等への回覧等③史跡利用者へのバス停への誘導の標識設置等

答) それぞれ関係機関等と連携して進めていく。
問) 受託事業者となる京王バスは応募時の企画提案で収支向上策での意欲を示している。今後の履行状況をしっかりと確認していただきたい。

答) 確実な実施を市として求めたい。

2・省エネや耐久性、防犯対策でも重要な街灯のLED化をさらに進めるために

問) 市所有の街路灯のLED化の進捗状況は?

答) 28年度までに約1300基を実施。29年度以降は自治会等が管理する分も補助対象としたい。
問) 自治会管理分の修繕や取り付けは、自治会がその費用を一時的に立て替えなければならず(現行は半年ごとに精算)蛍光灯に比べ金額の高いLED化は負担が大きいため、精算の期間を短縮するなど普及へ工夫をすべき。

答) 指摘を踏まえ、自治会の負担が少しでも軽減されるように柔軟な対応をしていく。

3・スポーツの推進にさらに力を入れるべき

問) 施設の老朽化が進んでいる。安全の観点や2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えどのように取り組むのか?

答) スポーツセンターのバリアフリー化をはじめとして計画的に安全対策を実施していく。他に、子どもたちにとって重要な学校の校庭の危険箇所の対策への積極的な対応を求めました。

4・駅のバリアフリー化を着実に

問) 駅ホーム上で視覚障がい者が内側と線路側を確認できる「内方線付き点状ブロック」の導

次ページに続く▶

入等、着実な安全対策の推進を。

答) 鉄道事業者に要望していく。

5・来年度の予算編成は、財政状況の一部で改善はあるが、市の基金残高は多摩26市中では今も下位である。各事業を精査し編成を求めた。

地域の見守りで徘徊しても大丈夫なまちを



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

◆認知症施策について、相談件数が年々増加しているが、今年度から徘徊等で行方不明になった高齢者の情報を、家族が希望した場合に「生活安全・安心メール」で配信している。この取り組みを周知することは、家族介護者の安心につながり、メールの登録者が増えれば、いざという時の見守りの目が増すことになる。周知が必要だ(答) 家族会や介護者教室、市報など方法を検討する ◆福祉の総合相談窓口について検討状況を伺う(答) 高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者等、対象者を限定しない相談の場が必要。地域包括支援センターエリアを基本に考える。体制の充実、場所の確保など課題はあるが、今年度中に一定の検討をしたい(問) 常設の設置についての考えは?(答) 公共施設の再配置が場所の問題を解決する一つの機会になると考える。横断的かつ包括的な支援のあり方を検討する(問) 新庁舎建設時には、ワンストップの総合相談窓口の設置を ◆受動喫煙防止対策について取り組みを伺う(答) 喫煙者を減らすことが受動喫煙しない環境づくりに寄与することから、禁煙したい人への支援を実施。また、母子健康手帳交付時や両親学級でリーフレットを配布し危険性を周知(問) 北口サービスコーナー来庁者から、喫煙所の臭いや煙について相談がある。母子健康手帳を交付する場でもあることから早急に対策を求める(答) 改善が必要だと認識している。J Tの意見を伺いながら対策を進めていく ◆協働のまちづくりを推進するために、所管課で協働の可能性についてさらに精査し、市民にわかりやすく情報提供する必要がある(答) 市民活動センターのホームページとリンクするなど研究したい(問) 公共を担うパートナーとして、今必要なことは何か(答) 市と

団体、お互いが意識改革し真の相互理解を図ることが必要(問) 市民活動センターは、支援の専門性、先駆性から、都内でも7割近くの自治体が公設民営だ。協働も視野にあり方を検討する時期ではないか(答) 現時点では、専門性をもったコーディネーターの配置を考えている。

いずみプラザ内に親子ひろば中央拠点開設を



国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ

●平成29年度の予算編成に向けて(皆) 後期基本計画の財政面の総括的な評価は?(答) 財調基金20億超えるなど、財政規律を守りほぼ達成できたところだ。さらなる努力は必要。(皆) H29は次期長計初年度。数値目標あるか?(答) 次期は4年を区切りの計画。1年単体ではなく2年ごとの目標数値となるよう進めている。(皆) 予算執行上、補正予算計上は慎重に。予備費は急を要する場合であり軽微なものとするべき。(答) 当初見込めなかった場合補正。緊急かつ早急に対応すべき事案の際に予備費対応は基本だ。(皆) 質量ともにサービスの向上と財政のやりくり両面からの財政運営が必要。極力財源をかけずに知恵を出せ。既存の施設の活用で財源軽減。(答) 財政効果に影響すると認識している。●公園等の掲示物に旧来の課名が存在する。組織変更に伴い適切な対応を。(答) 庁内周知図る。●「ストレスチェック」は有効に運用せよ。(答) 10月に実施した。ストレス状況の気づきを促し、メンタルの不調の低減が目的。職員1,083人が対象、94%が受診した。産業医との面談等職員の健康管理に役立てていきたいと考える。●教育ビジョンに子どもの遊び場位置づけせよ。(答) 総合ビジョン実行計画に明確な表現で、教育ビジョンの見直しの際も、表現を工夫する。●子育てへの不安解消、孤立化させないためにも親子ひろばの中央拠点設置は優先課題。(皆) 潜在的なリスクを抱えるケースへの対応は重要。「いずみプラザの和室」活用でコスト削減可能。保健センターもある等ソフト面でも安心。ある計画で親子ひろば開設費用H29⇒2,500万、H30⇒2,800万、H31⇒3,800万とあり。諸々な課題は承知だ。手厚くなった法務を駆使して国、都も説得して進めよ。(答) 整理すべき課題ある。強い提案であり、受け止めさせていただきたい。●障害者差別解消法施行に伴い職員の服務規定に「障害を理由とする差別の禁止」位置づけよ。(答) 対応要領も同時進行。服務規定に規定する。●要領、ガイドライン等もHPにアップせよ。(答) サーバーの容量も勘案。公表の姿勢はある。

共生社会にむけて障がいへの意識改革を



国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか

◆障害者差別解消法制定後の市の取り組み(秋本) 職員対応要領の策定は、差別的対応や合理的配慮の事例など、障がい当事者から意見収集し、目に見えない障がいへの対応も含め充実を。運用は市サービスを提供する業務委託者まで徹底すべき。(答) 職員対応要領の形式で今年度末までに策定する。団体に案を示し、意見をうかがい進める。指定管理者・業務委託者にも市に準

じた対応をお願いする。(秋本) 職員研修は、障がい理解促進に加え、障がい当事者を講師に迎えて共生社会の在り方について共に考える機会が必要。(答) 策定後の対応要領の周知を優先した上で、障がいへの理解を促す意識づけの要素も検討したい。講師等の具体的内容は今後の課題。(秋本) 障害者地域自立支援協議会が再編された。障がい当事者と事業者訪問して交流や意見交換の機会を拡げる等、実践的な活動を求める。権利擁護の視点も大切に、障害者差別解消支援地域協議会の機能の検討も。(答) 組織の機能や効果を情報収集し、将来的に付加機能も考える。地域福祉推進の考え方をベースに協議会の運営を図る。(秋本) 法の趣旨の普及は市全体で取り組む課題と捉え、条例制定を進めるべきと考える。◆生活困窮者支援(秋本) 家計改善は支援の根幹。家計支援専門員による丁寧な家計の見える化指導から、課題一つ一つの解決に繋がる。就労支援では、生活リズムやコミュニケーションの改善から就労まで、各々の抱える課題ごとに幅広い支援内容が必要とされる。任意事業として、専門支援員が役割分担し、的確で継続的な寄り添った支援体制の確立を。(答) 家計支援の重要性は認識している。就労は準備段階の支援も含め、効果を判断したい。両事業とも、相談支援の実績と生活困窮者のニーズを踏まえ検討したい。◆市民が活動する場の確保について 高齢者施策として、グループ活動が推進されている。市施設を利用したい方への場所の案内や情報提供、メンバーや希望者のマッチング、異世代交流のきっかけ作り等、活動継続への市の後押しを要望した。

公共施設の再編は住民・利用者主体で



日本共産党国分寺市議団 中山 ごう

《市民室内プールと九小プールの統廃合やめよ》市民プールは隣接5市と比較しても市民一人当たりの面積が一番少ない。また、利用者は主に平日の午前と午後に多く利用している。問) 九小プールと統廃合になれば一番利用の多い時間帯は市民がほとんど利用できなくなる。市民の利便性を全く考慮してない。部長) 健康増進のために高齢者が利用する割合が高い中で、学校プールと市民プールをいかに運営するかは1つの課題と認識している。すでに実施している他の自治体も研究しながら、課題を解決したい。教育長) (学校プールとしての利用はそれほど多くなく) 市民への影響はイメージよりはるかに少ないと思う。また市民の教育的な支援があり、子どもと市民と一緒にプールを使用し、市民が子どもの補助をする教育活動が可能になってくる。問) 市民ワークショップでは「地域で考えることが必要」というご意見が出されているが、どのような取り組みをしたのか。部長) 再配置計画の骨子を作成する段階で、地域での議論はしていない。まず考えられる案を出した上で費用面の検討を行う。その上で、適切なタイミングで市民の方の御意見をうかがい、御意見を踏まえて、今後、計画をどうしていくか考えていく。*そもそも骨子を作成する過程において、地域次ページに続く▶

閉会中の委員会等

委員会はどこでも傍聴できます

第4回定例会終了後、平成29年第1回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

- 1月17日(火) 議会運営委員会
- 1月25日(水) 総務委員会
- 1月26日(木) 文教子ども委員会
- 2月6日(月) 厚生委員会
- 2月7日(火) 建設環境委員会
- 2月9日(木) 国分寺駅周辺整備特別委員会
- 2月15日(水) 代表者会議、議会運営委員会

市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。

※1月26日の文教子ども委員会は午後1時から開催します。

*詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

で議論すべき。公共施設の再編はトップダウンでなく、まちづくりの視点で市民とともに計画すべき。

《介護保険料の引き下げを》

問) 保険料値上げでデイサービスを利用できなくなった市民がいる。負担増ではサービスの抑制になってしまう。

部長) 介護を本当に必要とする方が利用できない状況はあってはならない。

*実際に利用できない実態がある。介護保険料の引き下げを求める。

西国分寺駅北口、新庁舎建設問題等



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

＜西国分寺駅北口まちづくりのあり方は＞

岡部：更なる大型開発を西国分寺駅北口で進めるのはふさわしくない。駅直近の地権者の方々と構成する協議会が東村山駅西口、武蔵小杉駅南口、八王子駅南口等の再開発の視察に行った際に市の職員も同行したのか。

答：市の職員も同行し、市としても学習をさせて頂いている。

岡部：再開発と決定したわけではないと言いながら、明らかに再開発を視野に入れている。民間のマンションや大型店舗の建設に税金を投入していくことは政策判断としてふさわしいのか。

答：再開発事業で行うとした場合はその制度の中で必要ならば市の負担はしていくことになる。(と否定せず)

＜新庁舎建設予定地は市民の中で議論を＞

岡部：新庁舎建設を否定するものではないが、新庁舎が市内のどこに立地すればアクセスしやすいかという点や、各候補地の地域のまちづくりがどうなるのかに関して比較検討がまともにされていない。分析が極めて不十分だ。

新庁舎の建設場所を来年度中には決めたいと市長が記者会見で述べたとする新聞報道があるが、真偽のほどは。

答：記者会見では予想として話した。オリンピック需要の時期との関係で来年あたりに場所を決めていったほうがいだろうという趣旨。

岡部：だとしたらあまりに時間が無い。市庁舎の場所という重大問題を市民参加がないがしろにされたまま進めるのは絶対に認められない。

岡部：新庁舎建設へのPFI方式の導入検討では極めて根拠の薄い試算がされている。12年前に市民文化会館をPFI方式によって建設する計画が頓挫した教訓も踏まえられていない。

答：事業手法については様々な費用の算定をしっかりとやっていく。(と答えるに留まる)

その他、視覚障害のある方が駅ホームから転落、死亡する事故が相次いでいることを受け、ホーム柵の設置や当面の安全対策について取り上げました。

国分寺まつり出店拒否は「人権問題」



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野) ◆国分寺まつり出店拒否は憲法違反◆

東京弁護士会からの要望書について、部長は「対応を検討中」と答弁しているが、井澤市長は「何

を検討するよう」指示したのか。

部長) 現時点では担当レベルで検討している。市長からは特別な指示は受けていない。

幸野) 東京弁護士会から「人権侵害だ」と言われて、3カ月もたつのに、市長が何も指示をしていないことが大問題だ。人権感覚が欠けている。東京弁護士会に回答もしないのか。

部長) 回答をするかしないかも含めて検討中。

幸野) 市長は3年半前の所信表明で「日本国憲法と自治基本条例を守る」としたが、両方とも違反する市政になっている。深刻な事態だ。

幸野) ◆総合ビジョン案の大問題について◆

市は現行の第四次長期総合計画の評価・総括をまともに行っていない。市民自治や日本国憲法の精神も削除している。具体的な実行計画については「市民説明会」も「パブリック・コメント」も行う気がない。やり直すべきだ。

部長) 市民の声を聞くように進めている。

幸野) ビジョン案では市の課題を「人口減少」としているが、現実には「人口は増加」している。「人口は減る」から「財政は厳しい」として「公共施設は統廃合」し、市民に負担と我慢を押し付けている。市政を転換すべきだ。

副市長) 市の人口が増えているのは事実。しかし、人口ビジョンの推計は堅く見積もった。

幸野) ◆学校の教室と、学童保育所の増設を◆
第九・第十小学校以外の教室についても、必要な学校について計画的に増設を検討すべき。

部長) 増築は時間がかかる。適切に対応する。

幸野) 学童保育所は計画通り増設できていない。学校の教室同様に市長が指示をすべきだ。

部長) 国の補助金活用の方向性が明らかになってきた。今後、精力的に活用していきたい。

幸野) ◆子どもの医療費の完全無料化を◆

過去に何度も質問。所得制限の撤廃を求める。

部長) この間検証してきた結果、詳細な部分までたどり着いた。しかるべき時に報告したい。

人口減少待たなし、未来を見据えた課題解決を



自民党国分寺市議団 本橋 たくみ

●市庁舎の建設について

本橋) 市民サービス、防災面からみても早急に市役所の建て替えを検討していく時期に来ていると考えるがどうか。市) 財政状況をみながら時期について判断していく。

●出産支援について

本橋) 練馬区では第3子以降に20万円の支給や渋谷区では10万円の出産祝い金の制度が導入されている。少子化を解消するためには面白い取り組みであると思うが、担当の認識は。

市) 全国の自治体の取り組みについて研究していきたい。

●保育政策について

本橋) 市ではこれまで待機児童の取り組みを積極的に行ってきた。ここで保育士の処遇を改善するために、8万2千円が上限で、国や都から家賃補助していくという方針が示されたが、市の検討状況を問う。市) 他市の動向、法人の意向を踏まえて検討していく。

●学童保育所について

本橋) 学童保育所については狭隘状況が問題となっている。解消を市として取り組むべきだと考える。市) 民設民営学童誘致、また学校施設を有効利用しながら取り組んでいく。

●都市計画道路国3・2・8号線について

本橋) 平成28年度中、2月ないし3月頃に暫定開通をするとのことだが、近隣住民への情報提供をしっかりと行っていただきたいがどうか。市) 市民に対する情報提供をしっかりと行っていく。

●スポーツ振興について

本橋) けやきスポーツセンターのグラウンドを拡幅などして、スポーツ環境の向上を行っていただきたいと考えるがどうか。市) 様々な課題を整理した上で判断していきたい。

●西国分寺駅北口の再開発について

本橋) まちづくり推進地区指定に向けて動いているとのことだが、市としても積極的に関与していただきたい。市) 地域住民の意向を踏まえて関与していく。

井澤市政3年半の財政再建を更に推し進めよ!



国分寺政策市民フォーラム 木村 徳

木村=井澤市政になり3年半が経過したが、振り返って、実現できたことは何か。

市長=一番に注力したのは財政の健全化で、臨時財政対策債も借り入れず基金の増加も図ってきた。また迅速さという点では職員にも現場主義を徹底し、さらには思いやりのある市政という点では市民それぞれの立場に立って考える市政にしていくことができた。今後も丁寧な説明をしながら進めていく。

木村=確かにあらゆる政策を実現する為には財源が必要で「持続可能な自治体経営」が基本だ。しかし市民一人当たりの基金積立額は未だ多摩26市中25位で、長期計画では35億円としている財政調整基金残高も、100億円以上積んでいる市も多く、少なすぎる。更なる財政改革を。

政策部長=平成18年以降、扶助費支出も倍増し100億円以上だ。来年度からの長期ビジョンの8年間の見込みを立てて財政運営に当たる。

木村=職員の人材育成に関わり、以前も指摘した、幹部職員たる部長職と、課長職の間に部長候補の位置づけの役職を設け、部長としての組織マネジメントと課長としての個別事業対応を兼ねさせるべきとした件の検討状況は。

総務部長=東京都では既に導入されている統括課長を検討中である。

木村=まちの魅力発信に関し、様々な分野で世界の一線で活躍されている方々を名誉市民になって頂くことでの発信力は大きい。ぜひ実現を。

総務部長=既存の市表彰条例施行規則を改正し、対応していきたい。

木村=ふるさと納税の新たな取り組みとして銘板に名前を刻む等の取り組みの検討状況は。

政策部長=29年度実施予定で、現在、例規整備等を行っている。

木村=副市長職は大きな影響力がある役職なのに、地方公務員法や職員倫理条例の適応外で、国では禁止が強化されている天下りが実質放置されている。条例等で罰則も含めたルール化を。

総務部長=他自治体の例など、様々な角度から研究させていただきたい。



第4回定例会議案審議結果

第4回定例会には新規38件（市長提出36件、委員会提出2件）の議案が提出され、同意5件、可決33件となりました。その他選挙2件を行いました。
※太字表記の議案の表決結果は下表を参照してください。

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 結果. Contains 38 items of council proposals and their outcomes.

議案に対する議員の表決状況（賛否の分かれたもの）

Table showing voting status for council members on specific proposals. Columns include party names (e.g., 自民党, 政策市民フォーラム) and individual member names (e.g., 丸山哲平, 木村徳子).

・表決 ○=賛成 ×=反対 退=退席

・党派名（政策市民フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、無=無党派(無所属)）